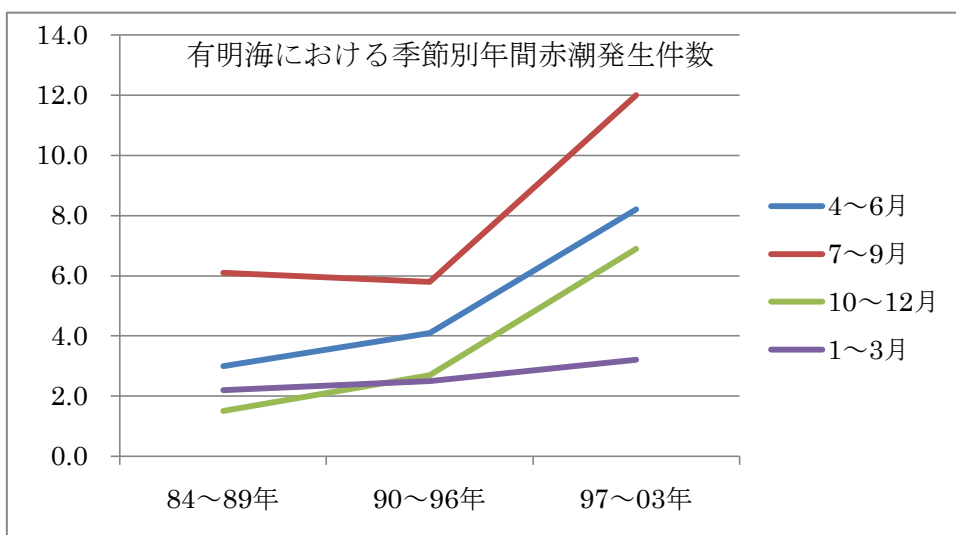
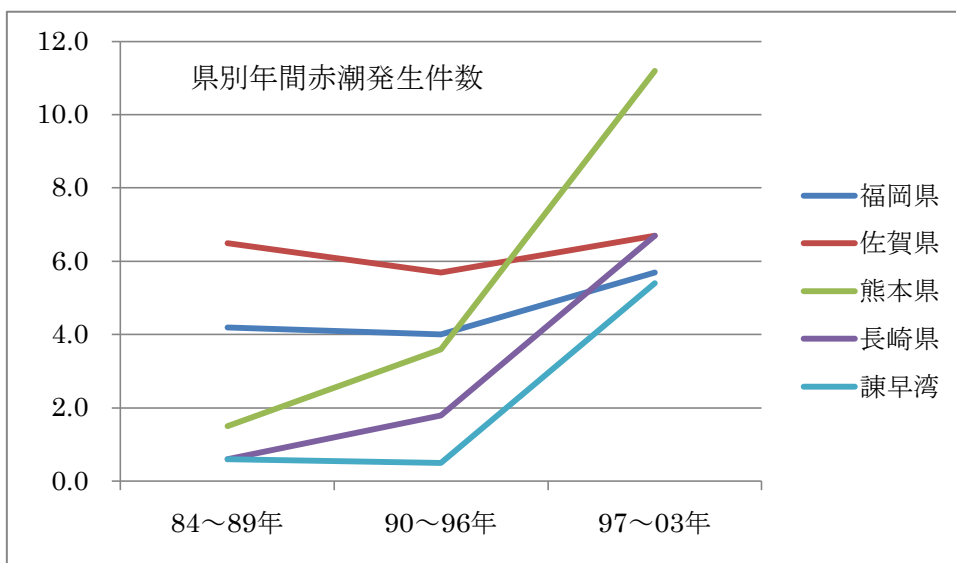


長崎県はこの度、江刺東北大名誉教授を地域説明会に講師として招き、有明海の赤潮増加の原因は諫干ではなく酸処理剤にあるとの説を、公費を使って県民に流布させようとしている。しかし有明海における酸処理剤の利用が本格化したのは80年代からであるが、(1)酸処理が行われる冬期に限らず、グラフ1のように各季節とも97年以降になぜ赤潮が増加したのか？ (2) グラフ2のように酸処理が行われていない諫早湾においても、97年以降になぜ赤潮が増加したのか？ という疑問が生じる。

県および江刺教授には、県民に対しこの疑問点への回答を行う責務があるのではないか。



グラフ 1



グラフ 2

公調委原因裁定専門委員報告書 <http://homepage3.nifty.com/isahaya/0412.pdf> の表 2-1-5 (pp91-92) をもとにグラフ化。